

# 平成31年度 事業計画書

---



社会福祉法人新潟臨港福祉会

桃山園

[www.momoyamaen.com](http://www.momoyamaen.com)

## 1. 平成 31 年度 運営方針

### ーサービスを考えた組織づくりにむけてー

平成 30 年度介護保険報酬改定では、国民一人ひとりの状態に応じた適切なサービスが受けられるよう質が高く効率的な介護の提供が大きな柱として謳われました。

人材確保の難しい時代に、いかに個別ケアに趣を置き、事業を発展させていくことが求められます。

昨今の虐待や介護事故等の社会問題の大きな要因のひとつに、人材不足とコミュニケーション不足が考えられます。人間関係がギスギスしている時代だからこそ、全てにおいてコミュニケーションが大切です。職員間のコミュニケーションを良好に保ち利用者との信頼関係を築きながら、利用者の一人ひとりの安全と尊厳を最優先とするサービスの提供がサービスの向上につながり、経営に反映すると思います。

まずは、職員一人ひとりを大切にした組織を強化して行きたいと思います。

これらを具現化するために事業運営を下記に示しました。

## 2. 平成 31 年度事業目標

### 【法人全体】

#### (1)サービスの質の向上

- ・業務の効率化を図り、直接介護の時間や関わりを増やす
- ・身体的変化の早期発見に努め、入院数を減少させる
- ・個々のニーズに応じたサービス提供

#### (2)職員のレベルアップ

- ・資格取得支援
- ・施設内・外研修の支援

#### (3)人材の確保・育成・定着に努める

- ・ワーク・ライフ・バランスの見直し（年次有給休暇の付与義務）
- ・定期的な学校訪問
- ・継続的な EPA 等外国人雇用の促進

#### (4)業務の効率化

- ・業務改善や I T 化の見直しを行い、情報共有できる

#### (5)ハード面の整備

- ・安全なサービスが提供できるように、設備環境の整備をする

### 【特別養護老人ホーム・ショートステイ】

#### (1)職員のレベルアップを図る

- ・スタッフに役割を持たせ、意識を高める
- ・目的をもって研修に参加し、研修後伝達研修を行う
- ・資格取得のサポートを行う

#### (2)サービスの向上を図る

- ・利用者一人ひとりのニーズに沿ったサービスの実施
- ・個別行事の参加

#### (3)業務の効率化

- ・業務改善を定期的に行う

### 【デイサービスセンター】

- (1)サービスの向上を図る
  - ・情報を共有して、ニーズに沿ったサービスの実施
- (2)職員の資質向上
  - ・研修会に参加し、知識や技術を向上する。

### 【ケアハウス】

- (1)自立した生活の支援を図る
  - ・個々の健康状態の管理
  - ・関係者との連携強化（家族・ケアマネジャー）
  - ・緊急時や災害時に対応できる環境づくり
- (2)サービスの向上を図る
  - ・食事内容の把握（残食確認・嗜好調査）
  - ・リクリエーションの実施
  - ・居住環境の整備

### 【職員研修計画】

- (1)目的
  - ・施設内外の研修に参加し、個々のレベルアップを図る。
- (2)目標
  - ・安全で質の高い介護サービスを提供するために、実践能力を高める。
  - ・老人施設の職員としての責任、役割を認識し、キャリア形成の基盤を作ることができる。
- (3)職員研修の目指すもの

職位	研修名（例示）	推奨する研修内容
管理職	人事労務管理研修 経営管理研修	・働き方改革と人事管理 ・人材育成と経営
監督職員 （主任・副主任）	倫理的研修 人材育成研修 マネジメント研修	・介護にまつわる倫理（倫理的問題についての組織体制） ・人材育成の手法、人材が育つ職場づくり ・組織における人の行動、チームとチームマネジメント
中堅職員	コミュニケーション研修 能力開発研修 アンガーマネジメント研修 技術習得研修	・チームにおけるコミュニケーション ・メンバーシップとリーダーシップ ・キャリアデザインとセルフマネジメント
新任職員	接遇研修 コミュニケーション研修 技術習得研修	・接遇の基本、職場における実践マナー ・コミュニケーションの基本

(4)計画（施設内）

研修名	目的	対象者	担当者
尊厳に関して （年2回以上） ・身体拘束 ・虐待 ・看取り ・認知症	・基本的な知識や技術を習得する	全職員	研修委員会
感染に関して （年2回以上）	・身近な感染症について学び、対応できる。	全職員	感染委員会
事故発生防止に関して （年2回以上） ・救命救急法研修	・基本的な知識や技術を習得する	全職員	リスク委員会
介護技術に関して ・排泄 ・食事	・日常介護の振り返りを通して、個別支援を考える	看護・介護職	
防災・防犯に関して （年2回以上） ・防災訓練	・災害時の対応について習得する	全職員	防災委員会

(5)研修（施設外）

研修名	目的	対象者	内容
キャリアパス	自身のキャリアデザインが描ける	全職員	・福祉サービスの基本理念と倫理 ・キャリアデザインとセルフマネジメント ・福祉職員としての能力開発 ・メンバーシップとリーダーシップ ・業務課題の解決と実践
コミュニケーションスキル研修	コミュニケーションの基本を学び実践できる	新任職員 中堅職員	・コミュニケーションの基本 ・自己覚知と他者理解 ・チームにおけるコミュニケーション
エルダー研修	エルダーの役割を理解する	研修担当者	・エルダーの考え方と、育成・指導のポイント ・育成計画立案
働き方改革研修	人事管理ができる	管理者	・働き方改革と人事管理 ・多様な働き方とキャリアパスと人事考課
接遇研修	接遇が実践できる	新任職員 中堅職員	・接遇の基本 ・職場における実践マナー ・職員の意識改革と組織開発
虐待防止研修	アンガーマネジメントができる	全職員	・施設における虐待を防ぐ
認知症ケア研修	認知症ケアの知識と技術が習得できる	全職員	・認知症疾患の理解 ・認知症ケアと対応
研修担当職員研修	OJTの活性化ができる	研修担当者	・人材育成と推進方法 ・職場ニーズの分析と年間計画作成、研修担当職員の役割と課題
気づく力研修	人が育つ職場づくりができる	中堅職員	・人が育つための、中堅職職員に求められること
記録の書き方研修	他者にも理解できる記録ができる	全職員	・記録の目的・役割・意義等の基本 ・記録の書き方基本とポイント

(6)評価

- ・施設内研修では、研修ごとに研修参加者よりアンケート調査し学習の習熟度を得る。
- ・施設外研修では、研修ごとに職員間に伝達することで、研修参加者の振り返り学習を行う。
- ・将来的には全職員の能力評価にも繋げていきたい。

## 【資金運用計画】

運用対象資金	施設設備等積立資金
拠点区分	特別養護老人ホーム桃山園拠点区分
サービス区分	本部、ケアハウス

### ■平成31年3月31日現在の積立資産の状況（予定）

サービス区分	運用種別	会計上帳簿	満期日／償還日	備考
本部	第四銀行 定期預金	¥207,000,000	平成32年 11月20日	期間：2年
本部	第四銀行 普通預金	¥90,000,000		決済用普通預金（無利息）
ケアハウス	第四銀行 普通預金	¥3,000,000		決済用普通預金（無利息）
合計		¥300,000,000		

上記資産は運転資金とは別に、設備整備等積立金規程に規定された積立資産で、中期修繕計画等に基づく大規模修繕や施設整備の更新など整備充実を図る費用に充当する資産となっております。

なお、この積立資産は『桃山園』建物及び設備等長期修繕計画により、上記積立資産の取り崩し年度、目標積立額を設定しております。

資産の運用については、定款20条及び経理規定第38条並びに資金運用規定に基づき、運用計画を当該年度開始前に作成し、理事会の承認を得ることとされております。

資金運用におきましては、現状では国債等金融債の長期金利が見込めないため、定期預金及び普通預金への預け入れとしております。

平成31年度当初の積立資産合計は、300,000,000円を保有しており、事業計画では、この資産から36,000,000円を取り崩し、設備の改修費用及び設備改修に充当することとしております。